

「同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために
小・中・地域の交流と連携を深めよう」

I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた指導に結びつける。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

II 研究の具体的内容

1. 第1回ブロック交流研究会「臨地研修・研究会」

- (1) 目的 市内の歴史、文化について学び今後の学習指導に生かす。交流を図る中で、松里中学区の児童・生徒について情報を交換し、今後の指導に役立てる。
- (2) 日時 7月30日(水) 13:30～16:30 会場：常泉寺・井尻小学校
- (3) 内容
 - ア 常泉寺の見学(講師 栗原宣如様)
 - イ 研究会〔討議の柱〕
 - ①児童生徒の様子について(松里中新入生の様子など)
 - ②学習規律について(甲州市「確かな学力」育成プロジェクト学級づくり・集団づくりの取組)
 - ③地域(松里中学区)における情報交換

2. 第2回ブロック交流研究会「松里中学校授業参観・研究会」

- (1) 目的 中学校の授業を参観し、意見交換を通して小中の連携を図り、今後の教育活動に生かしていく。
- (2) 日時 11月12日(水) 13:50～16:30 会場：松里中学校
- (3) 内容
 - ア 松里中学校1年～3年の全学級の授業を参観する
 - 1-A 国語「いにしへの心にふれる」平山直樹教諭
 - 1-B 数学「比例」大塚淳一教諭・谷澤糧子教諭
 - 2-A, 2-B 体育「柔道」清水佐知子教諭・林 秀亮教諭
 - 3-A 理科「化学変化とイオン」奥山万寿美教諭

3-B 英語「Unit 5 分詞の後置修飾」古屋友香教諭・関岡由香子教諭

イ 研究会〔討議の柱〕

- ①各校の校内研究の概要について（各校研究主任より）
- ②授業について（授業者の感想や質問を含む）
- ③児童生徒の様子について（現状と課題について各校生活指導担当者より）

3. 第3回ブロック交流研究会「学習会・研究会」

(1) 目的 今日的な課題について、講師を招いて対応策について学び、児童生徒の指導に役立てる。

(2) 日時 1月21日（水）15:30～16:45 会場：井尻小学校

(3) 内容

ア 学習会「小中学校における感染症対策」

講師 木村浩之様・大沼 恵様（峡東保健福祉事務所）

イ 研究会〔討議の柱〕 各校児童生徒の冬季休業中、3学期の様子について

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ・「中1ギャップ」が叫ばれる中、情報を交換し、小中ともに先を見通して指導に当たる課題を見いだすことができた。毎年、テーマをもって継続して取り組んでいきたい。
- ・中学校区の教職員が同じ方向を見て、課題を共有できる大変貴重な機会となった。
- ・授業規律や挨拶、携帯電話の使用についても話し合い、共通理解ができた。
- ・小中連携の必要性を感じる一年間のブロック交流研であった。小中が児童や生徒の実態を持ち寄り、情報交換することで「地域で子ども達を育てる」というテーマにも近づけた。
- ・中学校の参観で、卒業生の様子や発達段階に応じた指導内容を見ることができ、とても参考になった。
- ・研究会で話し合われた内容を『まつさと』にまとめ、各校に配布した。課題について再確認し、各校の取り組みに生かすことができた。また、欠席者にも研究会の内容を伝えることができた。

2 課題

- ・防災教育「DIG」の活用やQU分析にもとづいたエンカウンターの実践など体験的なことを研究会で取り入れることも小中連携を図ることにつながる。
- ・今後も、問題がある児童・生徒の情報交換等、ブロック交流の機会を最大限に生かす内容にしていきたい。
- ・スキー教室と重なってしまい3回目の学習会の参加者が若干少なかった。

（ブロック長 中村直人）